

第十一回

港北区



民俗芸能の つどい



2025年6月22日(日)

場所：横浜市港北公会堂

入場無料

開場 12:00 開演 12:30 終演予定 16:30



出演 鳥山町囃子保存会 小机城址太鼓
横浜興禅寺雅楽会 大曾根夢太鼓どどん鼓
菊名囃子連 和太鼓ユニット三色だんご
新羽はやし連 岸根囃子連
綱島囃子保存会

主催 港北区民俗芸能保存協会
後援 横浜市港北区役所
協力 港北区連合町内会 港北区氏子総代会
港北区社会福祉協議会 港北ふるさとテレビ局

ゲスト 桐蔭学園高等学校 和太鼓部 港北芸能協会

参加企画

今年も皆で輪踊り！

・このイベントは、港北芸術祭参加事業です。
・出演団体は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

港北区民俗芸能保存協会参加団体のご紹介

鳥山町囃子保存会

江戸時代後期の天保年間から約180年の歴史を有しています。明治から大正にかけて矢澤七百三（なおぞう）という笛の名人がおり、近隣の村や保土ヶ谷方面からも多くの弟子が稽古に來たそうです。残念ながら昭和11年に57歳の若さでこの世を去りましたが、その技は多くの弟子により受け継がれました。昭和50年頃メンバーが4名に減り存続が危ぶまれましたが、町の有志18名が発起人となり新たな連中12名を加えて保存会を設立しました。

横浜興禅寺雅楽会

雅楽は今から1,400年以上前に朝鮮半島、中国大陸から遣唐使により仏教とともに伝わり、平安時代に日本独自の優美な雅楽として完成したと言われる伝統と歴史的価値がある音楽です。宮廷、貴族社会だけでなく、大阪四天王寺、奈良興福寺などの寺院も伝統を守ってきました。横浜興禅寺雅楽会は、明治の中頃より100年以上にわたり継承され、かつては農民雅楽的な会だったと言われています。

菊名囃子連

昭和59年、地元の長老から菊名囃子の復活を依頼され、菊名の若手や子供たちが集まって稽古を始めました。昭和61年に菊名東口商栄会の協力で太鼓を奉納していただき、以来、地元のお祭りやイベント等でお囃子を披露しています。当初は大人の囃子と子供囃子は別々に活動していましたが、平成26年から一緒に活動を始め、名前も菊名囃子連と改めました。

新羽はやし連

江戸神田囃子を源流とするお囃子で、200年以上継承されてきました。笛、大太鼓、締太鼓、鉦（かね）の五人囃子に、舞い手が加わります。昭和20年から40年に全盛期を迎えましたが、その後衰退し、一時は消滅寸前になりましたが、近年になり再び活動を望む声が増えたため復活しました。地元の神社の祭礼や横浜市内のイベント、介護施設での演奏、正月の獅子舞などの活動を行っています。

日吉はやし連

日吉を中心に活動しています。日吉神社の夏の例大祭では、囃子を演奏しています。囃子連としては珍しく、組み太鼓も扱っており、創作太鼓の曲も演奏します。

桐蔭学園高等学校 和太鼓部（ゲスト）

桐蔭学園は青葉区に校舎を構える大規模進学校です。2018年に共学化されました。関東大会出場常連、全国大会複数回出場経験ありという実績の実力校です。お祭りの華やかさと、和太鼓の力強さを兼ね備えた若々しい舞台をご覧ください。

< 港北区民俗芸能保存協会 >

<http://kohoku-yokohama.jp/minzokugeino>

事務局電話：045-481-3540（浜田）

綱島囃子保存会

幕末の頃、綱島の人が江戸囃子を取得し、アレンジを重ねて現在の綱島囃子が完成したと伝えられています。囃子には山の手と下の手がありますが、綱島囃子は山の手囃子です。綱島周辺では下の手囃子が多く、盛んな頃は7つの囃子連がありましたが、現在は綱島囃子だけが残っています。交通事情の悪化と神社の焼失で祭がなくなり、一時は影をひそめていましたが、祭の復活と昭和4年7月の神社の再建をきっかけに復活しました。

小机城址太鼓

平成2年、大堀町内会文化部が、小机城址太鼓と命名し発足されました。江戸前の粹と伊奈世が心情の助六太鼓を基本とし、独自の作風を研究、新曲の発表、演奏技術の向上を目指して日々活動しています。

大曽根夢太鼓 どどん鼓

横浜市立大曽根小学校のPTAサークルとして結成され、毎週日曜日に小学校の音楽室で練習しています。町内のお祭りや盆踊りのほかに、地域のイベントなどでも演奏しています。

和太鼓ユニット三色だんご

港北区内で行われるお祭りや祝賀行事、高齢者施設などのイベントで太鼓演奏活動をしている3人組です。篠笛、鳴り物を取り入れ和楽器の楽しさを伝えています。

岸根囃子連

岸根囃子は、港北区岸根町に祭囃子として昔から受け継がれている郷土芸能です。昭和58年に、横浜市教育委員会から横浜市無形民俗文化財保護育成団体として認定され、地域に根ざした活動を行うと共に、「ふるさと岸根」の文化遺産として次の世代に伝える取組みも行っています。1986年と1995年にカナダのバンクーバー市、1989年と2004年にフランスのリヨン市、2007年には米国のサンディエゴ市に、また、昨年11月にはフランス・リヨン市を横浜市の国際親善訪問団の一員として訪問し、国際親善にも一役買っています。平成27年11月13日には、地域文化の振興と国際交流に貢献したことで、第64回横浜文化賞を受賞しました。

港北芸能協会（ゲスト）

昭和53年に港北区が主催する事業協力団体として、区役所主導で区内民謡・舞踊ほか35団体役1300人で港北区民芸協会を設立しました。その後、会名を港北芸能協会と改め、現在は10団体200～300人が所属しています。年2回港北芸能大会を開催し、春は協会の大会、秋は出演者を区民から公募して開催しています。

< 会場のご案内 >

横浜市港北公会堂 東急東横線大倉山駅から徒歩5分

< DVD好評頒布中 >

今までの「港北区民俗芸能のつどい」を収録したDVDを好評頒布中です。お問い合わせは、港北ふるさとテレビ局まで。（頒布価格 1部 1000円）
メール: info@kohoku-furusato-tv.org 電話: (080)5641-6425

